

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施 設 名	豊明市南部児童館
指定管理者名	株式会社ポピンズエデュケア
指 定 期 間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日
所 管 課	子育て支援課

区分	項 目	令和6年度 前半期(4～9月期)				令和6年度 後半期(10～3月期)					
		指 定 管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指 定 管理者	指定管理者 備考	市	市 備考		
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】										
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		A		A			
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		A		A			
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A		A		A			
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		A		A			
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A		A		S	事故・ヒヤリハットへの意識向上を目的として日誌の様式を改訂した。		
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		A		A			
	【利用者に関する業務】										
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		B	前年度比減少率12.4%(全館平均▲9%)	A		B	前年度比減少率32.9%(全館平均▲17.3%)		
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か										
	【保守点検並びに清掃業務等】										
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	4/17.7/25 浄化槽保守点検 9/9 消防設備点検 9/13 浄化槽法定検査	A		A	10/10 浄化槽保守点検 10/24.3/1 遊具点検 3/13 消防設備点検 3/18 浄化槽清掃	A			
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	7/8 樹木の剪定 7/13 全室エアコンクリーニング 9/14 カーペット洗浄・その他除草は職員で定期に実施	A		A	前期(7月)に、樹木剪定、エアコンクリーニング実施	A			
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	フェンス破損報告済み	A		A	修繕依頼報告済み	A			
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	安全マップ作成済み	A		A	安全マップ作成済み	A			
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A	8/11 駐車場トラロープ設置	A		A		A			
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		A		A			
	備品は適切に管理しているか	A		A		A		A			
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		A		A			
	【事業の実施に関する業務】										
	指定事業は適切に実施されたか	A		S	他館との合同親子教室を開催した。	A		A			
	自主事業は適切に実施されたか	A	・毎月予約制の工作イベントの実施 ・夏休みは毎日イベントを 実施(職員実施23回・出前講座4回)	S	新規事業を多数開催した。	A	1/25お抹茶会実施 2/27.、3/1おこしもの作り実施	S	お抹茶会・おこしもの作りなどを実施した。		
	【個人情報の取り扱い】										
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		A		A			
	【①に係る指定管理者の自己評価】	・重大事故・ケガ・クレーム等なく安定的な運営ができています。 ・昨年度末からのトイレ工事の影響で4～8月末までは小学生・幼児さん共に一般の利用者が今年は少なかった。 ・毎月の避難訓練とは別に、引き渡し訓練や防災訓練を小学生・幼児親子へ実施し緊急時対応の意識を高めている。 ・春休み・夏休みは毎日日替わりで職員がイベントを行った。 ・工作イベントや出前講座によるイベントを実施し、参加者や保護者から好評をいただいた 出前講座…7/24 印刷から学ぶ色の不思議と地球環境への取り組み、7/31 面白エコ工作、8/9 ピオトープを通して学ぶ生物多様性、8/20 リサイクルを楽しく学ぼう ・昨年度に引き続き中学生のボランティアも受け入れ、子どもたちの成長の場となるように環境を整えた。				・重大事故・ケガ・クレーム等なく安定的な運営ができています。 ・厚生保護女性会の方に協力を依頼し、お抹茶会、おこしもの作りと伝統文化について触れる機会を作り、参加者から好評の声をいただいた。 ・また、施設の老朽化に伴い様々な箇所が破損している為、都度報告しながら修繕できるものは修繕し安全管理に努めている。					
	【①に係る施設所管課の評価】	新規事業を多く実施している点は、スタッフ間で児童館は学びの場でもあるということが意識づけられていることの表れであり、特に、理科系のイベントが充実していることは、子どもたちに学校とは異なる学びや体験を提供する革新的な取組として評価できる。			区分 評価	B	・アクシデント記録やヒヤリハット記録への遷移を容易にするため管理日誌のレイアウトを改訂した。この取組は、職員の業務効率化や安全管理の向上に繋がっている。 ・お抹茶会やおこしもの作りといった伝統文化や地域特有の活動を提供することで、利用者が地域ならではの文化に触れる貴重な機会を作り出しており、地域における児童館の役割を広げ、コミュニティとの深い繋がりを築くきっかけとなっている。			区分 評価	B

区分	項 目	令和6年度 前半期(4～9月期)				令和6年度 後半期(10～3月期)			
		指 定 管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指 定 管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
② サ ー ビ ス の 質 の 評 価	【施設の運営状況に関する事項】								
	窓口対応は適切に行われているか	A		A		A		A	
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A	3月実施予定	S	アンケート結果や利用状況から企画内容を柔軟に変更している。	A	2-3月に実施済み	A	
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		S	保護者からの要望等に対して丁寧に対応している	A		S	保護者からの要望等に対して丁寧に対応している
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A		A		A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A	7/13 エアコンクリーニング(全室実施)	A		A		A	
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A		A		A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		S	夏休みに日替わりの事業を実施した。	A		A	
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】								
	各職員がテーマをもって改善活動を実施しているか	A	各々得意なことを活かして活動している	A		A	各々得意なことを活かして活動している	A	
	乳幼児・児童ひとりひとりの年齢や発達状況に柔軟に対応しているか	A	発達に応じて部屋を分け環境づくりを行った	A		A		A	
	掲示物・展示物に創意工夫がなされているか	A	季節の壁面装飾を子どもと共に行っている	S	自作の図MAPを掲示した。	A	保護者の知りたい保育園情報を館内に掲示した	S	自作の図MAPを掲示して情報を発信を行った。
	保育の質を高めるためのミーティングが設定されているか	A		A		A		A	
	【②に係る指定管理者の自己評価】	・昨年度のアンケート結果をうけ、①1年生から参加可能な工作イベントの実施、長期休暇に行っている毎日のイベントとは別に②出前講座によるイベントを実施し、好評をいただいた。 ・昨年度の幼児親子さんの利用状況を参考にして、年齢に合わせて部屋を分けた環境づくりを行い、幼児親子さんが安心して児童館を利用できるように工夫している。 ・保育園選びの参考になるような壁面を作成し、保護者へ発信した ・毎日のMTGに加え、毎月の職員会議と週に1回児童館に関するカンファレンスを行っている				・幼児親子さんからの声を参考に、集会室の壁面に保育園の情報を掲示した。お布団の要否やおむつの情報などはHPにものっていない為、電話で聞き取りを行い作成をした。好評の声をいただいた。 また、その掲示をきっかけとして、幼児の保護者同士での情報交換を行っている様子も多くみられた。 ・毎日のミーティングに加え、毎月の職員会議と週に1回児童館に関するカンファレンスを行った。 ・長期休みは毎日「お楽しみの時間」を設け、各職員が得意なことを生かし子どもたちへ提供することができた。			
	【②に係る施設所管課の評価】	・保護者からの相談に対して真摯で丁寧な対応をとっており、地域の子育て支援施設としての信頼性を高めているといえる。 ・イベントや企画内容をアンケート結果や利用状況に応じて適宜修正している点や夏休みに日替わりで育成方法や遊びの手法を替えるという取組は、利用者の関心が途切れることなく児童館を有効活用してもらうことに繋がっている。			区分評価	A	・保護者からの相談に対して真摯にかつ丁寧に寄り添った対応をすることで、安心感を提供し子どもの成長や親子関係の支援に繋がっていると評価できる。 ・保護者にとって必要な地域の情報をわかりやすく発信する工夫は、利用者支援における重要な施策の一つであり、周辺の幼稚園や保育園を記載した地図を作成して館内に張り出すことで、子育て世帯が情報収集を容易に行う環境を提供した。これは、日頃から利用者のニーズをキャッチする意識づけができているからこそその成果物であるといえる。	区分評価	A
③ サ ー ビ ス 提 供 の 安 定 性 の 確 認	事業収支は黒字になっているか	B		B	上半期は赤字収支である。	B		B	下半期は赤字収支である。
	必要な帳簿は備えられているか	A		A		A		A	
	経理処理は適正に行われているか	A		A		A		A	
	収入増加のための取組がなされているか								
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		A		A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		A		A	
	【③に係る指定管理者の自己評価】	人件費等が収支に影響を及ぼしているものの、おおむね安定的に運営している				評価Bとした理由： 安定的な運営を行うため、人員の配置を充実させたことによる人件費の負担増。 加えて、今年度は全社あげて処遇改善に取り組み、今期は12月に賞与に加え全職員に処遇改善一時金を支給。 それにより施設単体の事業収支は赤字となっているが、施設自体の運営ならびに企業全体としての事業収支は安定している。			
	【③に係る施設所管課の評価】	・館自体の事業収支は赤字であるものの、施設自体の運営及び企業全体としての事業収支は安定している。			区分評価	B	・館自体の事業収支は赤字であるものの、施設自体の運営及び企業全体としての事業収支は安定している。	区分評価	B

【項目評価】

- S（優 良）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A（良 好）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B（課題あり）： 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善）： 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S（優 良）： 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良 好）： 項目評価が全てA以上。
- B（課題あり）： 項目評価にBがある。
- C（要改善）： 項目評価にCがある。